

/// 今後の取り組み ///

●民間での活用を推進

今後、廃止していく施設のうち、活用が可能な施設は、民間での活用を積極的に進めていきます。売却等が可能な土地は、公売などによる譲渡を積極的に進めていきます。

●計画的な改修

施設の数が取り壊しや統合などにより減ったとしても、残していく施設は市民の皆さんにとって使い勝手が良く、より有効的に活用できる施設となるよう検討し、改修などを行っていきます。

●定期的な計画の見直し

老朽化の状態や利用状況を基に評価を行い、定期的に計画の見直しを行っていきます。見直す際は、ほかに有効的な利活用ができないかも含めて検討していきます。

/// 民間利用の事例 ///

【旧浦和小学校校舎（有明町）】



▲ドローンスクール

【旧久玉小学校大之浦分校校舎】



▲車えびの陸上養殖場

【旧一町田小学校第一分校校舎（河浦町）】



▲障がい者支援施設

計画の詳細は市ホームページをご覧ください。

※令和4年9月に、市民の皆さんからいただいた同計画への意見に対する回答も掲載しています。



▲市ホームページ

将来の世代に負担を残さないために

“最適な公共施設の配置の実現”に 取り組んでいきます — 計画を改訂 —

「施設数の多さ」「施設の老朽化」「人口減少」「財政負担の増加」など、本市の公共施設が抱える課題に対応していくため、保有する公共施設などの管理の基本的な方針を定めた「天草市公共施設等総合管理計画」と公共施設の将来的な配置などの方針を定めた「天草市公共施設等再配置・個別施設計画」を改訂しました。

/// 計画の必要性 ///

本市が保有する施設数は、令和3年度末で2,633施設。その中でも、建築後30年以上を経過している施設が多いため、これから大規模修繕や建て替えなどが必要となってきます。今後、必要となる費用を試算したところ、現在の施設全てを維持していくことが困難なほど膨大になることが分かりました。

このまま対策をしなければ老朽化などが進み、施設の安全な利用だけでなく、将来的に皆さんの命や生活を守るためのサービスが十分に行えなくなってしまいます。そうならないためにも、本市が抱える課題や市民のニーズを踏まえて、公共施設全体を見直すことが必要です。

/// 計画の概要 ///

●長寿命化を推進

老朽化した施設を安易に建て替えたりせず、計画的に改修などを行い、施設を長期的に利用していきます。

●公共施設の改修などに必要な費用の削減目標を設定

全ての施設を長寿命化しても、建て替えや改修などに必要な費用は年間で約39億円、今後40年間で約1,590億円になると見込んでいます。そのため、将来的な市の財政状況を考慮し、今後40年間で約660億円の費用削減を目標としました。

●各施設の今後の利用方針を設定

費用を削減するためには、保有している施設の数を減らしていかなければなりません。そのために、施設の利用や老朽化の状況を基に評価を行い、その結果に沿って各施設の今後の利用方針を定めました。